

1 月 11 日：低流動性の中で上下

今週になってから相場は上下に揺れている。水曜日の VN 指数は 0.23% 高の 1,055.76 ポイントで取引を終えた。

流動性は低水準が続いており、今週に入って売買代金は 10 兆ドン以下が続いている。水曜日のホーチミン市場の出来高は 5.45 億ドン、売買代金にして 8.9 兆ドンだった。指数は 1,050-1,065 ポイントのレンジで低流動性の中で上下している。午前中に 1,065 ポイントを触れる場面があった後、上げ幅を縮小し 1,055.76 ポイントで取引を終えた。前日比では 2 ポイントほどの上昇だったと BIDV 証券は語った。

午後に入って、上昇トレンドは緩やかになった。255 銘柄が上昇し 155 銘柄が下落した。午前中には 270 銘柄が上昇する場面もあった。ホーチミン市場では、205 銘柄がその日の高値から 1% 以上下落した。その内半分は 2% 以上の下落となった。

大型株では、ベトコムバンク (VCB) が 2.52% 安、ビナミルク (VNM) も 2% 安となり指数を押し下げた。

一方、ビンホームズ (VHM)、サイゴンビール (SAB)、ベティンバンク (CTG) は 2-2.8% 上昇した。

同社のアナリストによると、テト休暇を前に大きな動きは見られないだろう。

ハノイ取引所の HNX 指数は続伸、0.49% 高の 211.67 ポイントで取引を終えた。

流動性はわずかに改善し、出来高は 6,200 万株、売買代金にして 9,010 億ドンだった。

抵抗線に入ると売り圧力が高まり、資金流入も少なくなるため下落した。VN 指数は 1,045 ポイントで再び反発したため、下落はわずかだった。相場が反発し始めても売りは少なかったとロンベト証券のアナリストは語った。

投資家には抵抗線での需給動向を良く見極めるべきだと勧めた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。